

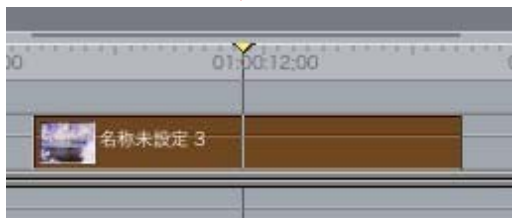
FxScript Trial

Mask on Mosaic2

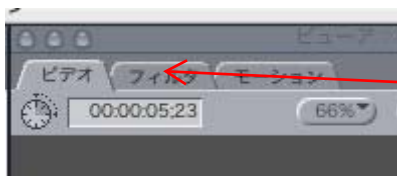
- ・ フィルターの設定
- ・ プラグの機能
- ・ ナビゲーション機能の解説

Filterの設置

まずプラグをライブラリー→Application Support→Final Cut Pro System Support →Plugins に入れる。
そしてFCPを立ち上げる。（プラグは起動したときしか読まない）

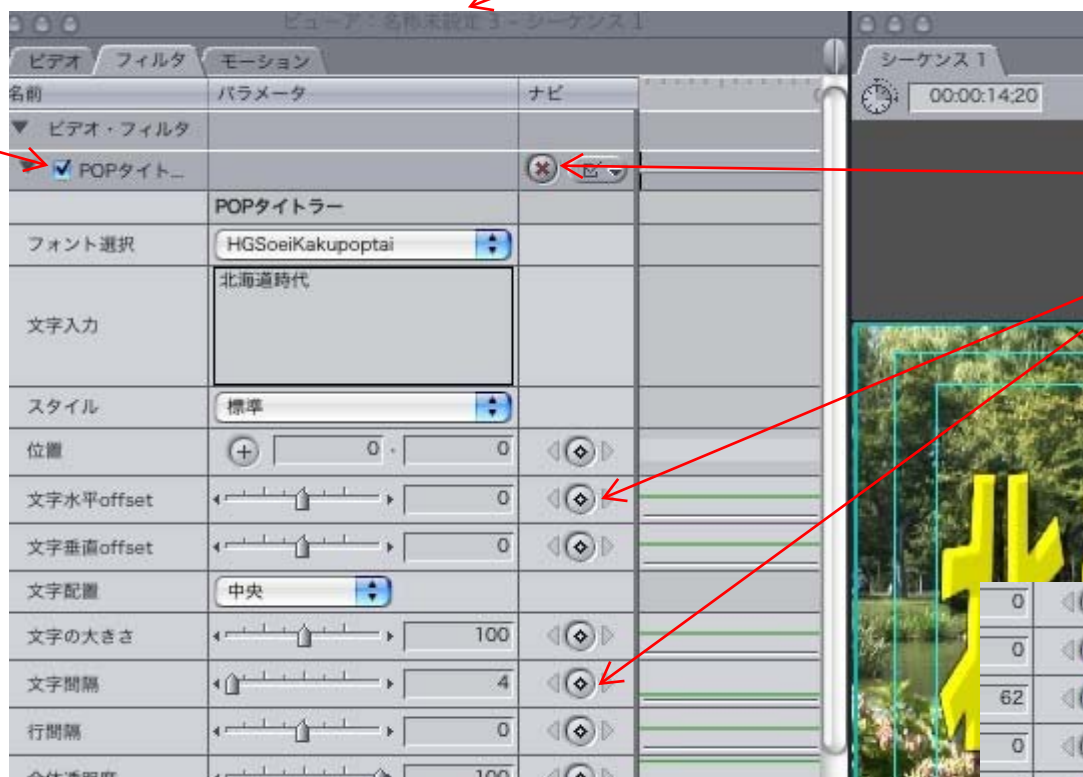


次にシーケンス上の映像をクリックして上方のエフェクト内のフィルターを選びFxScript Trial内の効果を選択する。



フィルターがセットされたのでビューアーのフィルターを押す。

ここを押すと効果がパスされる



ナビゲーション

ここを押すとナビゲーションの設定が全部クリアされる

項目ごとに設定

シーケンスの映像の進み具合に応じて数値を変化させる。これでレンダリングをかけると連続的に効果が変化する。



画像に設定されたプラグ

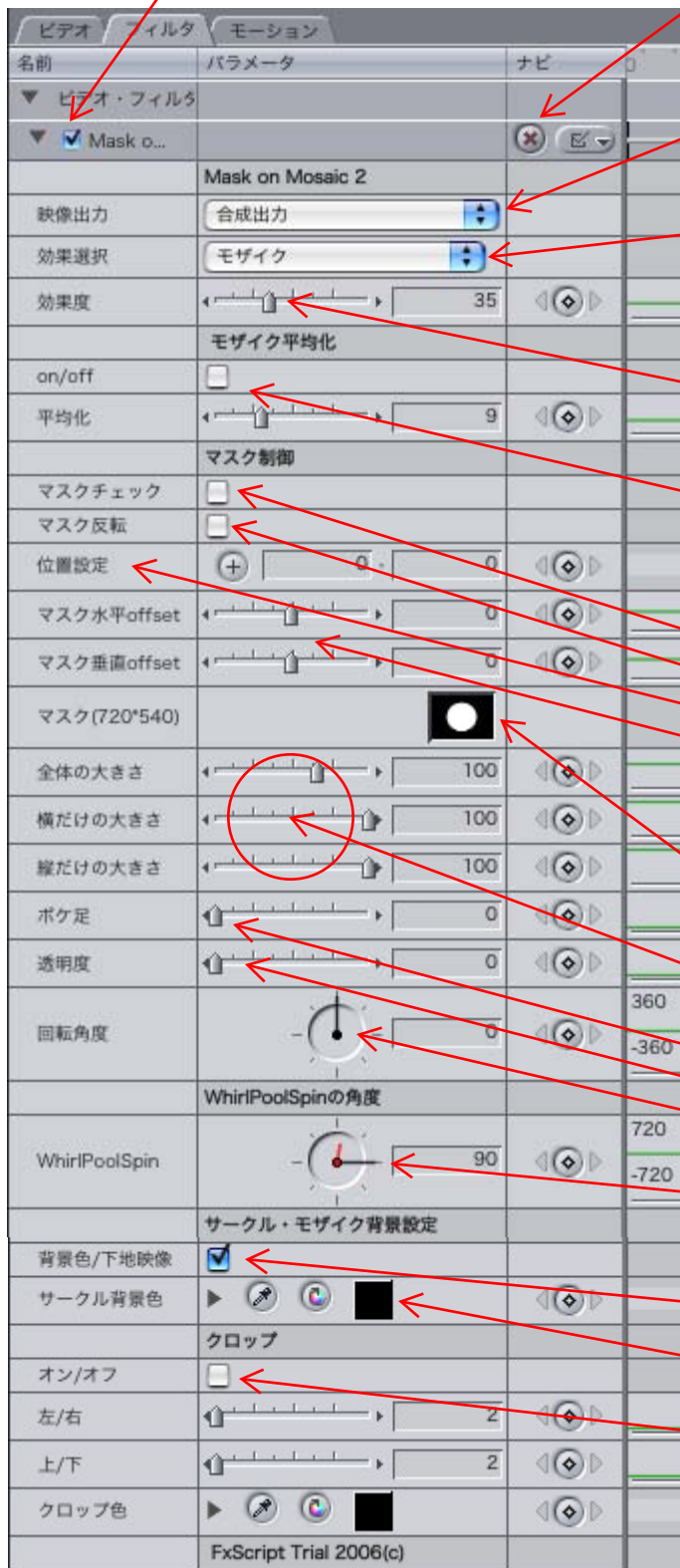
Mask on Mosaic 2

*** 注意 ***

マスク素材を揃いでマスクに落とさないで合成出力ができません。

チェックポイントを外すとエフェクトがパスされます

赤×を押すとナビ設定が全部クリアされるので要注意です。ナビの説明は次ページ



映像出力はマスク、効果映像、合成出力の3種が選択できます

効果はモザイク、サークル・モザイク、ソフト・フォーカス、ノイズ、リップル WhirlPool、シリンダー、引き込み（逆魚眼）の8種です（デモで確認下さい）

全ての（WhirlPool以外）効果の調整は効果度スライダーで設定することができます

平均化はモザイク、サークル・モザイクに有効です。（業界の要望で装備しました）

マスク制御から回転角度までの設定は外部挿入マスクに対する設定です。

- ・マスクチェックは範囲を白丸で示します
- ・マスク反転は文字通り効果が反転します
- ・位置設定はマスクの位置です。
- ・要望にお答えして直感的に位置を入力できるオフセットを装備しました。これはマスクだけ有効です。WhirlPoolや引っ張りの場合、中心点も移動する効果を狙う場合は位置設定で入力をお願いします。
- ・読み込んだマスク素材を揃いでマスクの中に落とせば左記の表示になります。
- ・大きさ設定はマスクだけです。全体、横縦の設定ができます。
- ・ボケ足はマスクのボケ具合の調整です。
- ・透明度は下地映像との透明設定です。
- ・回転角度はマスクの回転設定を行います。

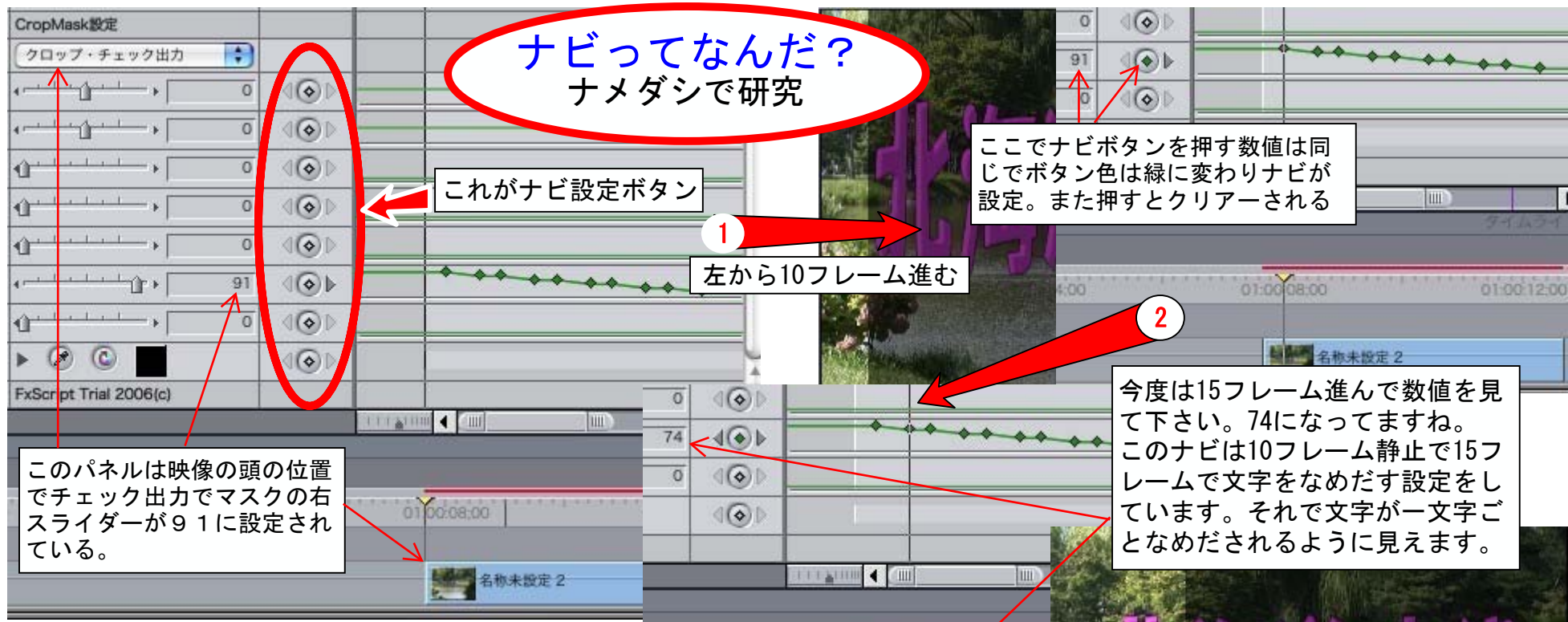
WhirlPool専用の角度調整(+720度)を新たに設置しています

サークル・モザイク設定は丸くなったモザイクの抜けを背景色か下地映像の選択をします背景色の設定です。

クロップを装備しています。

デモ映像とご購入はここをクリック

FxScript Trial



ナビってなんだ？
ナメダシで研究

これがナビ設定ボタン

1
左から10フレーム進む

ここでナビボタンを押す数値は同じでボタン色は緑に変わりナビが設定。また押すとクリアされる

このパネルは映像の頭の位置でチェック出力でマスクの右スライダーが91に設定されている。

2
今度は15フレーム進んで数値を見て下さい。74になってますね。このナビは10フレーム静止で15フレームで文字をなめだす設定をしています。それで文字が一文字ごとなめだされるように見えます。

右のタイミングをそのまま進めて最後の一文字まで行った設定。数値が24.5まで変化しているのがわかります。

3

デモ映像を見る
クリック



ナビゲーションの説明

ナビは最初にボタンを押したら設定モードに入り時間軸を進めるに従い数値を変化させるかナビボタンを押すことで設定されます設定が終わったらレンダリングをかけるとポイント、ポイントのキーフレーム（ナビで設定した位置）間が自動的に計算され動きが連続して見ることが出来るようになります。

フィルター系のプラグでナビボタンのあるものは全てナビ設定が出来、連続して効果をコントロールすることができます。

